



ほたる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
 ~あなたの悩み事は当社までご相談下さい~
 【今月の一冊】 人生を変える勇氣
 岸見一郎 著 中公新書ラクレ
 ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2016年12月1日 Vol. 170
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 ライフコンサルタント 渡邊敏徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

未来のクリスマスプレゼント

今から6年前の2010年の年末に、前橋市の児童相談所にランドセルが10個届けられたことを記憶している人も多いと思います。伊達直人という昔のアニメのヒーローの名前で、施設に暮らす子どもたちへ寄付をしました。その後、全国各地で“伊達直人”が、新庄市、四日市市、姫路市、鳥取市、長崎市などに現れました。“タイガーマスク運動”です。

今年は、お金にまつわる話題がとても記憶に残っています。富山では約2ヶ月間で計11人(市議9人、県議2人)の議員が政務活動費の不正請求で辞職する異例の事態となりました。

また、2020年に予定されている東京オリンピック・パラリンピックの大会運営費用や会場整備費用が昨年末、当初見込んでいた3013億円の6倍の1兆8000億円に拡大、さらに東京都が負担する大会後整備費用、2241億円を含めると、2兆円を大きく上回ることが明らかになりました。“コンパクトでお金をかけない”と計画した本来のテーマはどこへいってしまったのでしょうか？

1964年のオリンピックは国際社会への復帰と日本経済の復活を世界へアピールするものでありました。2020年のオリンピックは「未来の社会の在り方」を世界に示すものであれば、大いにインフラ整備として未来への投資をしてもいいのではないかと感じています。

成熟社会にある日本において、「これまでとはまったく違う発想が求められ、採算を度外視してでも社会的に役立つ分野に支援をして雇用を創っていくこと」が必要ではないかと思うのです。もしもこうした議論が極端に見えるなら、私たちは未だ“発展途上社会の発想”に浸かっているからかもしれません。成熟社会ではお金を節約すれば、市場の調整によってより効率的な事業におカネが回るのではなく、失業というより大きな無駄が拡大していきます。

今の日本が陥っている最大の問題は、国民全体が“金の亡者”になってしまっていることではないでしょうか。お金は、経済を循環させるための血液であり、物を手に入れるための手段ではありません。しかし、お金そのものが目的になってしまい、本来人々を幸福にする手段であるはずのお金が人々を不幸にしているように感じます。

私たちは、成長社会から成熟社会になっていることを受け入れ、未来の社会のあるべき姿にお金を投資していくことに目を向けていかなければいけないと思います。それが、未来の子どもたちへのクリスマスプレゼントになりますね。



金のなる木

日本では『金のなる木』は儲かる商品のイメージがあります。過去にどんな商品があるかという、ソニーのトリニトロン、シャープの液晶テレビ、コダックのカラーフィルムなどです。

ご存知のように、これらは企業にとって『ドル箱商品』でした。『ドル箱商品』とは、お金をドンドン生み出すという意味です。実際に、これらの商品は利益を生み出し続けました。しかし、トリニトロンは液晶テレビに、シャープの国産液晶は中国韓国の廉価版の液晶に、コダックのカラーフィルムはデジタルカメラに切り替わってしまいました。

『今、売れているものが売れなくなる』のは世界の常識です。しかし、不思議なことに消える間際に高い利益を出すことが多いのです。高い利益を出しているとまだまだだと感じてしまいが、そんな時に商品の特性を知っていると、これからどの商品を強め、どの商品の力を抜くかが見えてきます。私たちの会社のメイン商品は必ず『過去の栄光商品』になる可能性があります。いつまでも『金のなる木』と思っていると大変なことになってしまいます。十分に気をつけることが大事です。次の『金のなる木』を絶えず考えておくことが重要ですね。

※今年も「ほたる」をお読み頂きありがとうございました。来年もよろしくお願い申し上げます。



【座右の銘にしたい名言】



この地上で過ごせる時間には限りがあります。本当に大事なことを本当に一生懸命できる機会は、二つか三つくらいしかないのです。

(スティーブ・ジョブズ/米国の実業家、アップル創業者)

◇ 年末年始の営業 平成28年12月30日～平成29年1月4日までお休みとなります。